

永代経法要の
一日の様子

●本堂にてご挨拶



11時頃～

いらした方が本堂に上がり始めます。
本堂では、ご門徒のみなさまの代表として
正徳寺世話人にご挨拶を受けていただいでいます。今年
は島田様にお引き受けいただきました。

●香雨部屋にてお斎



●本堂にてご法話



ご挨拶の後は、香雨部屋にてお斎をいただきます。

12時～

本堂にてご法話をいただきます。

●講師の吉田龍雄師



今年の講師は、浄土宗大本山増上寺 参拝課
課長・蟠龍寺副住職 吉田龍雄師に
ご出講いただきました。

「法然上人とお念仏のいわれ」をテーマにお話
いただきました。地方官吏（今でいう知事）の息子に
生まれた法然上人が、なぜお念仏に出あわれたのか。
法然上人はお念仏を、仏からすべての人を救いた
いという願いとして受けとられました。親鸞聖人も
また、法然上人の教えに救われた一人でした。

13時～

本堂にてお経をお勤めしました。

14時半頃～

講師の吉田龍雄師を囲んで懇親会を庫裏二階にて開
きました。お坊さんになるとはどういうことか。増上寺
の様子など、いろいろな質問が飛び交いました。

●本堂にてお経



●お経後の懇親会



永代経法要とは、仏さまの教えが永代に伝わるよ
うにという願いを持って勤められる法要です。いま
私にとどけられたお念仏の智慧が、先祖より私へ
伝わってきたことに思いを馳せ、またいま私から
後の世代へと仏縁がつながっていくことを誓う儀
式です。

「永代経懇志」は永代にお経が読まれ仏法が伝
わるこの場がつづくことを願いとしてお納めいた
だいでいます。

皆さまの思いに心より感謝申し上げます。

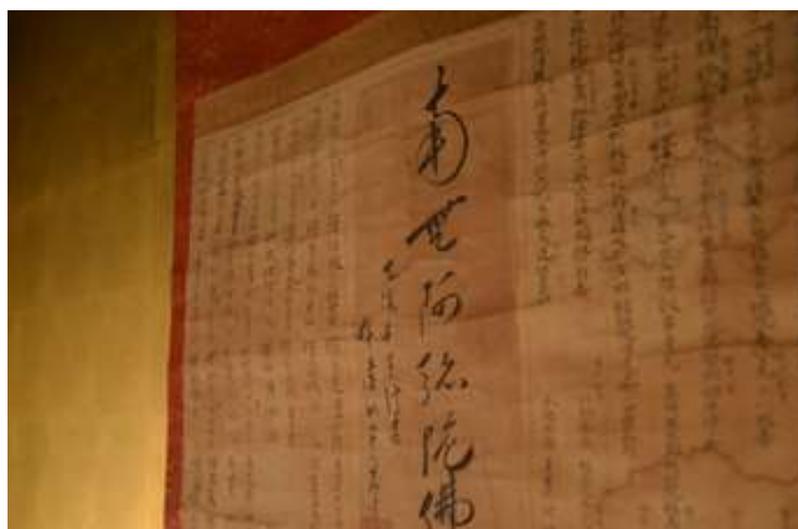


2016年5月7日

正徳寺 永代経

えいたいきょう
「永代経」は法要の名称です。未来永代にわたって仏さまの教えが伝えられていくことを願いお勤めします。

去る5月7日、今年も皆さまのおかげをもちまして永代経法要を無事お勤めいたしました。永代経法要の用意と当日の様子についてお伝えします。



写真右→
永代経の際の
阿弥陀様まわり
のしつらえ



←写真左
永代祠堂の方の
法名が書き込ま
れた掛軸

本堂の向かって左端の間には、普段は正徳寺歴代住職の法名が記された掛軸がかかっていますが、この日には永代祠堂を申し込まれた方の法名が記された掛軸にかけかえます。

永代経の際には、本堂のしつらえも普段とは変わります。仏具をこの日のために磨き、阿弥陀様の手前にある卓にかける敷物（打敷うつきといいます）も華やかなものを用います。



←写真左
お斎ときの部屋

写真右→
山門幕



お斎とき用の部屋もご用意しています。永代経にいらした方には、お弁当をお渡ししています。予約は不要です。お部屋は皆さんでお使いいただけますので、法話までの時間をゆっくりお過ごしください。お茶、漬け物、柏餅をご用意してお待ちしています。

山門に幕をかけます。お寺の門は一般的に「山門」と呼びます。これは、かつてお寺が山の上に建てられていた時代の名残と言われ、平地に建てられた寺院でも「〇〇山〇〇寺」と号し、門を「山門」と呼びならわしています。